



尚絅学院大学

総合人間科学部人間心理学科

池田和浩 (いけだ かずひろ)

所在地：宮城県名取市ゆりが丘 4-10-1

<http://www.shokei.jp/>

Profile—いけだ かずひろ

尚絅学院大学総合人間科学部人間心理学科准教授。専門は認知心理学。著訳書は『不測の衝撃：危機介入に備えて知っておくべきこと』（分担翻訳、金剛出版）など。2009年度日本心理学会優秀論文賞受賞。



尚絅学院大学は、宮城県名取市の小高い丘の上にある大学です。JR仙台駅からバスを使って30分ほどで到着します。その眺望の良さと雰囲気の良いことから、昨年には映画『ReLIFE』の撮影現場となりました。

「尚絅」とはどう読めばいいのですか？ こんな質問をたまに受けることがあります。「しょうけい」が正解です。その由来は、中国の礼記の編章の「中庸」の一節である「衣錦尚絅」（錦の衣着ては、其の上に粗布の打掛うちかけを加えること）にあります。また、尚絅学院は120年余にわたって一貫してキリスト教精神を土台とする人間教育を行ってきました。校名を中庸から頂きましたが、キリスト教の精神について理解を深めつつ、豊かな教養を身につけることができる大学です。

人間心理学科の紹介

人間心理学科は、尚絅学院大学が4大の総合人間科学部として新たにスタートした2003年に誕生しました。人間心理学科の特徴は、「人間」を知るための多くの知識を身につけることができる、その学びの幅広さにあります。心理学という学問が哲学から派生したものであることは周知のとおりです。人間心理学科では哲学と心理学の歴史的なつながりを意識しつつ講義を受講することができます。加えて、現在の社会や世界の成り立ちを深く知る上で必要とな

る人間学（宗教学や教育学）を受講しつつ、それらの学問と心理学とのつながりを体系的に学ぶことができるのが、人間心理学科の最大の強みでもあります。つまり、調査・観察・実験に基づく「心と行動のメカニズムの理解」と、科学の意味を問い直すことによる「人間への深く鋭い洞察力」を同時に培うことで、人間理解の多様性を獲得することができるのです。

たとえば、専門教育科目の一つである「人間心理学入門」は、12名の専任教員が共通のテーマに基づいてリレー形式に講義を進めます。2016年度は、心理学、教育哲学、宗教学、神学、哲学のそれぞれからみた「共生」をテーマとして講義が行われました。この講義を受講することで学生の皆さんは、各分野の専門性や研究方法の違いを理解しながら、各領域がどのようにつながり関連しているのかを理解することができます。

また、心理学領域においては、基礎から応用まで多くの研究分野の講座が網羅されており、学生の皆さんは本当に自分の興味を持てる研究領域を見つけ出すことができます。たとえば、学習心理学（田島教授）、認知心理学（池田准教授）、発達心理学（小泉准教授）の講座から人の心の基本的なメカニズムを理解することができます。さらに、社会心理学（水田教授）、臨床心理学（三好教授・内

田講師）、犯罪心理学（川端准教授）の講座から、人の心を応用的かつ実践的に理解することができます。

カリキュラム

人間心理学科のカリキュラムでは、1,2年次に基礎的な知識や素養を身につけます。たとえば1年次には「基盤演習」を受講することで、大学生として学ぶ姿勢、資料の整理の仕方、発表や討論の仕方などの具体的な学習方法を学びます。また、「情報処理演習」においてコンピュータとネットワークを使うための基本的な知識・技能・マナー・リスクを学びます。さらに「キャリアデザイン」の講座が1年次から開始され、卒業後の職業選択に向けてアクティブラーニングを中心とした雇用状況の把握や自己分析トレーニングを実施します。

心理学領域については、1年次に「心理学概論」および「心理学研究法」を受講することで心理学を専門的に学ぶ上で必要となる基盤を習熟できます。2年次の「心理学実験・実習」では、心理学的研究を進める上で必要な実証的研究技法とその背景にある考え方を習得するため、少人数のグループに分かれて実験（錯視・条件づけ・行動観察などの古典的な実験が中心）や心理調査（YG検査・MMPI・バウムテストなどの臨床的技法が中心）を実施します。実験や調査を行った後にレポートを

まとめることは、4年次に卒業論文を作成する際に必須となる力です。受講当初は戸惑うこともあるかもしれませんが、教員や大学院生が丁寧な対応とアドバイスを行いますので、どうぞご安心ください。

3,4年次には、上述したとおりの広範な専門教育科目を履修することが可能です。3年次で開講される特徴的な科目として「フィールドワーク演習」があります。これは面接法をフィールドで実習する授業です。専門科目の集大成ともいえる卒業研究の研究室の所属が正式に決定するのは4年次からとなります。各研究室には受け入れ可能人数が設けられていますが、ほとんど本人の希望する研究室に入ることができます。研究室を決定する前には、3年次に開講される「人間心理学専門演習」を受講することで、希望する研究室と本人の相性を事前に確認することが可能です。たとえば筆者の担当する専門演習では、4年次の卒業論文が自分たちの卒業研究の内容を3年次の受講生に直接紹介する時間を作っています。そうすることで筆者の研究室の雰囲気や積極的に体験してもらっています。こうした学年の上下のつながりは3年次の学生にとって最大の不安ともいえる「就職活動」に関するリアルな情報を卒業生から直接聴くことのできる機会ともなっています。

また、人間心理学科で取得できる資格には、高等学校教諭1種免許（公民）と認定心理士のほかに、任用資格として児童指導員、社会教育主事があります。認定心理士の資格は、各種講座を無理なく受講することで取得することが可能です。

卒業後の進路

人間心理学科の卒業生は、一般企業、銀行などの金融機関、教育産業、福祉施設、児童養護施設、教員、公務員などの仕事に従事しています。こうした幅広い業種や職種を選択できる理由は、人の多様性を理解することで得たコミュニケーションスキルが、多くの職業で活用できるためです。もし、現在、自分の明確な将来が見えずに悩み戸惑っていたとしても、人間心理学科で学び続けることにより、一人ひとりのスキルに適した進路を見つけることができると思います。また、昨年度から大学院に進学して臨床心理士の取得を目指す学生が増えています。

学生生活

尚綱学院大学は閑静な丘の上に立つ大学ですので、日々の喧騒を忘れ勉強に専念できます。しかし、天気の良い日には、一面芝の広場で気持ちよさそうにおしゃべりを楽しむ学生さんをよく見かけます。海外の大学では学生さんが芝の上に寝ころがって勉強している光景を見かけますが、それに似た雰囲気を感じることができるのも本学の良い特徴かもしれません。

宮城県名取市は、2011年の震災により特に沿岸部に甚大な被害を受けました。こうした環境から、大学のボランティアチーム（TASKI）は、仮設住宅への訪問や市民交流サロンへの参加を通して積極的なボランティア活動を行っています。本学では、社会の課題に対して、積極的に考え、企画を生み出すことで、地域の人々とのつながりを大切にしています。

大学院

大学院心理学専攻は2016年から臨床心理学コースと心理行動科学コースの2コース制になりました。両コースとも、心と身体の両

側面からアプローチした教育プログラムを配すことで、より高度な研究に取り組むことが可能です。また、臨床実践のみならず、研究・調査データの解析手法を学ぶことでエビデンスに基づく考察の能力を養うことができます。

臨床心理学コースは、執筆現在、日本臨床心理士資格認定協会による第1種指定大学院の認定を受ける予定となっています。このコースでは、「ハイブリッドな臨床心理士を育てる」を教育テーマに、資格取得を目指して、各種の技法（面接法・査定法・研究法）について幅広く学習します。また、臨床的知識や技法の取得はもちろんのこと、認知・発達・学習・社会といった幅広い専門領域の心理学をより高い水準で修学できるカリキュラムが構成されています。2016年度に入学した5名の大学院生は日々の勉強と実習に切磋琢磨しているようです。加えて、付属の実習棟として臨床心理相談室が新設され、臨床心理学コースの専任教員、および大学院生が、地域社会の様々なニーズに応えるべく、各種心理相談業務に従事しています。相談室の愛称はヘブライ語で希望を意味する「ティクヴァ」です。地域の明るい希望となるべく、県内外の精神保健を支える人材を輩出するために学生および教員一同が研鑽を続けています。



ティクヴァ竣工の様子（2016年5月12日に撮影）